御学校だより

２０２５年１０月１０日
藤沢市立御所見中学校
校　長　山田　大

「笑人（ワルツ）」～真剣にマナーよく和やかに～

１０月２日（木）「笑人（ワルツ）」をスローガンに、綾瀬市オーエンス文化会館で合唱コンクールが行われました。

今年の合唱コンクールはなんと言っても合唱の完成度の高さに驚かされました。特に３年生はどのクラスも豊かな声量、美しいハーモニー、強弱の表現力が素晴らしく、クラスの一体感が感じられ甲乙つけがたい出来映えでした。成績発表で大喜びする姿、落胆する姿を見て、今まで本当に精魂込めて練習に取り組んできたのだと感じました。それでも表彰式や閉会式後の記念撮影では、どのクラスも晴れやかな笑顔で達成感に満ちた表情をしていました。４月から私が言い続けている「努力の上の辛抱という棒を立てて、そこに花が咲いた」取り組みができたのでしょう。

２年生は１年生の時からレベルの高い合唱で１年間の成長を期待していましたが、２年生の発表が始まると、期待通りに会場の空気が一変しました。大きなホールで大観衆を前に歌う２年目の慣れ、貫禄でしょうか、どのクラスも堂々と、そして伸び伸びと歌う姿が印象的でした。来年度、最後の合唱がどこまで素晴らしいものになるか今から楽しみです。

１年生は初めての経験で、とても緊張している様子がうかがえました。照明に照らされた明るく広いステージ、迫ってくるような観客席が目の前に広がる景色など、リハーサルの体育館とはあまりにも違う環境に戸惑ったことでしょう。その中にあっても、声を絞り出し、仲間の声を頼りに練習で培った実力を発揮しようと懸命に歌うひたむきさが伝わってきました。校長室に聞こえてくる練習の歌声は例年以上の熱のこもったものでした。

そして、５組の「上を向いて歩こう」の発表では、５組の生徒に加えて４０名以上の有志が参加して、夏休み前から練習に取り組んだ振り付けとともに、会場全体が一体となるパフォーマンスを披露してくれました。５組の生徒は有志の皆さんと発表できることを楽しみに、この日まで５人で熱心に練習を繰り返してきました。その成果を存分に発揮することができ、有志の皆さんの協力もあり、会場全体が本当に温かい雰囲気に包まれ、合唱や歌が本来持っている良さである、みんなで歌うこと、表現することの楽しさを実感させてくれる時間となりました。

この素晴らしい舞台を提供いただいた綾瀬市オーエンス文化会館のスタッフの皆様に感謝致します。また、舞台を整えるという意味では、合唱コンクール実行委員の働きも素晴らしく、当日も含め選曲・スローガン・ポスター・練習の計画など長期間準備に取り組み、舞台での挨拶・進行も緊張しながら立派に務め、今回の成功を陰で支えてくれました。

また、多くの保護者の皆様に参観いただき、受付やドア係、激励会用の写真撮影等にもご協力頂きありがとうございました。

「自分も人も大切に」して、本当に素晴らしい時間を会場全体で共有することが出来ました。来年度も大いに期待しています！生徒のみなさん、ありがとうございました。

受け継がれる伝統と文化～３年生が築いてくれたもの～

今年の合唱コンクールでとても驚いたことがあります。それは、１年生の鑑賞態度が非常によかったことです。自分の出番が終わった１年生は緊張がゆるみ、歌を聴くことに飽きてしまい、他学年の発表中に私語をしたり、中には居眠りをしたりする場面を長年中学校の教師をしてきた私はよく目にしていました。しかし、今回はそのようなことは一切なく、１年生もみんな集中して上級生や５組の発表を鑑賞していました。もちろん、上級生や５組のパフォーマンスが素晴らしかったことも一因でしょうが、私は３年生の鑑賞態度を１年生が見習ったのだと思いました。その理由として、演奏中だけでなく、時間もよく守って、休憩時間の終了前にはきちんと自分の席に座って開始を待つ状態ができていました。

今年の一年生は、特に時間を守ることに力を入れており、１年生担当の先生が、普段の休み時間に廊下で「今２分前だぞー」とか「いそげー」と声を掛けているのを校長室で耳にします。それが合唱コンクールでは、誰かに注意を受けることもなく、自主的に時間を守る行動ができていました。真剣に行事に取り組むこと、マナーを守って鑑賞すること、時間を守ること、様々な良い行いが３年生から伝統・文化として受け継がれていることを嬉しく思います。

生徒主体、みんなの意見を反映する～生徒会選挙・立会演説会～

１０月８日（水）新しい生徒会本部役員を決める選挙の立会演説会と投票が行われました。それぞれの候補者・推薦責任者が街頭演説・政見放送などの選挙活動を経て、５時間目の立会演説会では、推薦理由や公約・方針・思いが語られました。中でも印象に残っている言葉は、「生徒主体」「みんなの意見を反映する」というものです。

今年度の体育祭では、練習段階から生徒中心で進行し、ペットボトルの持ち込みに関するルールが変更されたりして生徒の主体性がより一層推進されました。あいさつ運動も継続して行うなど、自分も人も大切にする公約を掲げる候補もいて頼もしく感じました。

また、意見箱の活用や改善について提案する候補が多く、生徒一人一人の声を学校生活に反映させようという強い意思が示され、全ての生徒を大切にする生徒会の誕生に今から期待が高まります。

ますます広がる！深まる！小中学校の交流！

御所見・中里小学校との交流を推進していますが、９月４日（木）には御所見小学校で給食交流、１０日（水）には中里小学校で野球クラブとの交流、１０月３日（金）には中里小学校で３年生の算数の授業を参観、６日（月）には御所見小学校で三校合同の合唱交流会が行われました。給食交流では中学校の教員が一人ずつ小学生のクラスに入り、一緒に給食を食べ、昼休みに遊び、５時間目を参観しました。野球クラブとの交流では野球部顧問と校長が一緒に野球を楽しみ、算数の授業参観では数学科の先生にとって大いに参考となり、合唱交流会は今年から中里小学校・御所見地区合唱サークルも加わり、ますます広がる！深まる！小中学校の交流となっています。